

みなまた あしきた

水俣・芦北地域の教育旅行プログラム

みなまたから学ぶ

現実に向き合う勇氣

自分で考え行動する力

世界をつなぐ根っこの場所

環境 自然
社会 人権

2019 年度改訂版

◎水俣・芦北地域へのアクセス

- ◆新幹線で新大阪から新水俣まで約3時間45分。
- ◆博多から約1時間。
- ◆鹿児島中央、熊本から約30分。



がんばるけん！

くまもとけん！

◎宿泊



◆湯の児 海と夕やけ

全室オーシャンビューの宿です。宿で水俣のごみ分別プログラムが体験できます。温泉は源泉かけ流しで不知火海に沈む夕日を望むことができます。

- 住所：水俣市湯の児温泉 ●肥薩おれんじ鉄道水俣駅より車で15分／新幹線新水俣駅より車で15分
- 最大受入人数／180～230名 ※120名以上で貸し切り可能

※宿泊人数が最大受入人数よりも多い場合は、湯の児温泉旅館が連携した分宿を行うことができます。詳細はお問合せください。



◆湯の児温泉 昇陽館

威風堂々と海へ広がる源泉かけ流しの露天風呂は、不知火の海を一望できます。

- 住所：水俣市湯の児温泉 ●肥薩おれんじ鉄道水俣駅より車で15分／新幹線新水俣駅より車で15分
- 最大受入人数／80～100名



◆御立岬マリンハウス

不知火海が一望できる御立岬にあるログハウスで20棟全てにお風呂、キッチン、トイレ等が常設されています。

- 住所：芦北町田浦町 ●田浦ICより車で15分
- 最大受入人数／20棟（1棟5～6名）
- 風呂・トイレ・キッチン・テレビ・エアコンつき

●教育旅行プログラム全般に関するお問合せ・・・



一般社団法人

環不知火プランニング

kanshiranui planning

TEL 0966-68-9450

FAX 050-3730-3585

<https://www.kanpla.jp>



270

百紙パルプ配合率70%再生紙を使用

本誌では環境保護のために、地球にやさしい「再生紙」を使用しています。
このパンフレットは、熊本県の水俣・芦北地域振興計画に基づく水俣・芦北地域環境フィールドミュージアム事業で作成しました。

■この印刷物が不要になったら古紙回収などに回して資源化しましょう。



◆発行者：熊本県／所属：地域振興課／発行年度：令和元年

◆企画・制作：一般社団法人 環不知火プランニング

©2010 熊本県くまモン

みなまたから学ぶ

水俣の人と土地は、私たちにメッセージを送りつづけています

水俣の人々は、暮らし、命、人としての誇りを奪われました

つらい過去を伝え続ける人の勇氣は、どこから産みだされるのでしょうか？

弱者の立場に立って考えられるココロは、気づきを得た人の財産

水俣から学んだコドモは、

自分と他人を結びつけ生きる術を獲得します

オトナの私たちは、そのココロを持っているのでしょうか？

山の鐘

今も昔も空の青さに変わりはなく

今も昔も海の青さに変わりはなく

今も昔も山の緑さに^{あお}変わりはなく

今も昔も命の輝きに変わりはなく

この変わりなき宝を

この変わりなき命を

現在にそして未来にわたり

守りつづけよう

平成8年当時、
熊本県立水俣高等学校3年
長迫由紀子さんの詩



目次

01 ・みなまたから学ぶ
・フィールドパートナー
・山の鐘

03 世界と日本の課題を水俣から学ぶ
・水俣芦北での学びとは

05 学習後の感想

07 水俣の教訓から学ぶ
・エコパーク周辺フィールドワーク

09 水俣に聴くプログラム
・負の遺産を富の遺産に

11 環境で再生する水俣から学ぶ
・市民・行政・企業の取り組み
・環境センタープログラム
・エコタウン見学プログラム

13 海・山・里山に親しむ
・水俣・芦北の体験プログラム
・地域内のお勧め施設

15 モデルコース
実施行程例

17 事前学習のための資料
主な受入実績
水俣・芦北地域体験マップ

FP

フィールドパートナー

フィールドパートナーは、水俣病によって地域が負った大きな傷と、そこから得た宝（教訓やのさり）を訪問者一人ひとりに日常で活かせる学びとして伝えるため、水俣の歴史と正面から向き合っています。

※ のさり 天から得た恵み。水俣では体験を経て得ることができたことごと。「勇氣」「覚悟」「魂」など。





水俣は、私たちの心をうつす鏡です。

世界と日本の課題を水俣から学ぶ

●心を育てるからこそ
知識は活かされる

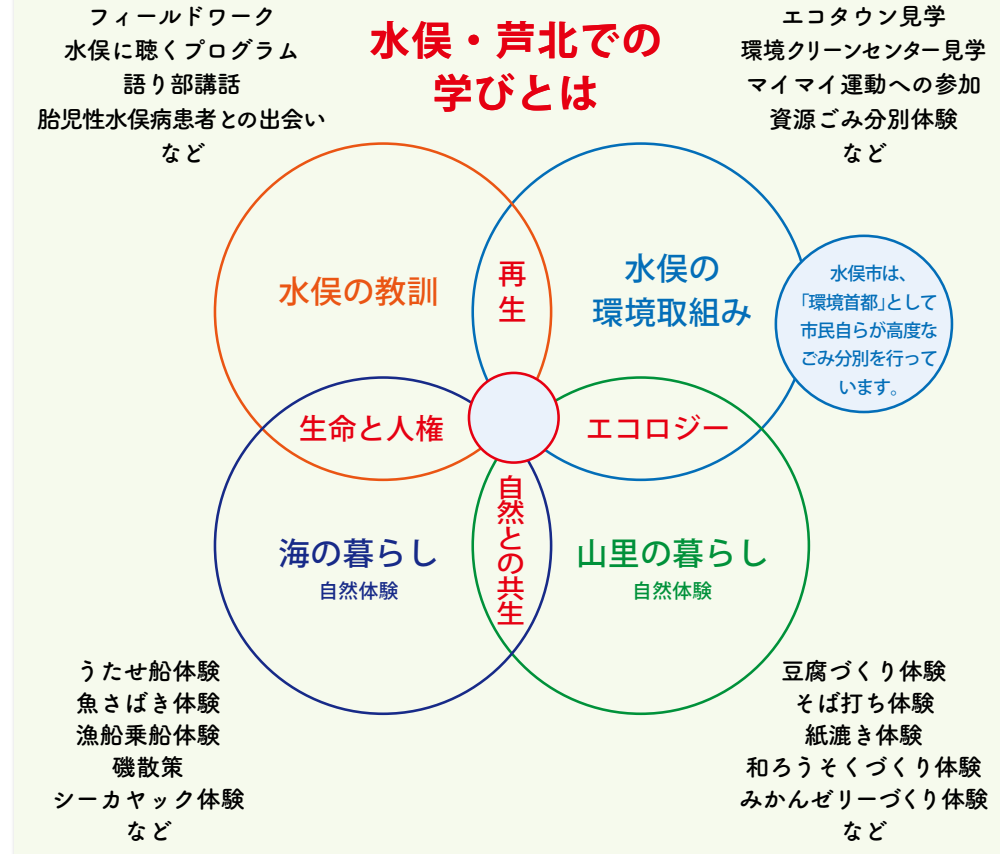
- ・「価値観づくり」人間の尊重、多様性の尊重、非排他性、環境の尊重
- ・「体系的思考力」問題や現象の背景の理解、多面的かつ総合的なものの見方
- ・コミュニケーション能力
- ・リーダーシップの向上

●水俣から学びが生まれる様々なテーマ

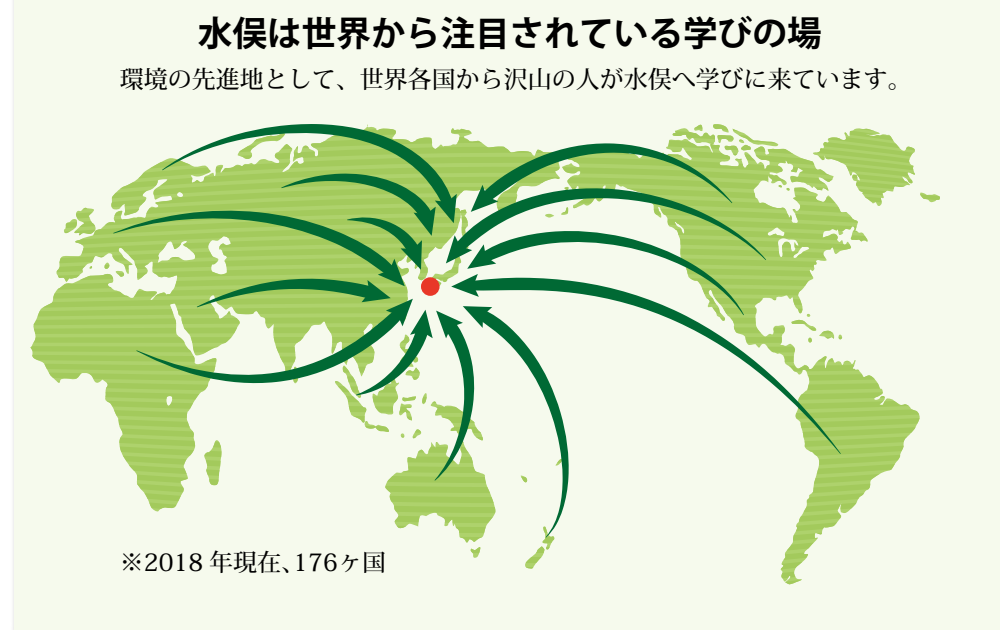
- 環境問題
- 経済問題
- 貧困問題
- 人権問題
- 社会問題

●自分の生き方、学校生活など
社会にアプローチ

- ・「タニンゴト」ではなく「ジブンゴト」へ生きる力を信じていることができる
- ・意見を表現し、自己実現の力を紡ぐ
- ・自らと地元を活かす力を得る



- 「水俣からの学び」をフォローします！
- 語り部DVDや視聴覚教材の貸し出し
 - 指導案・単元計画の事例紹介
 - 出張授業や教員研修 etc
 - 基礎学習のための教材の配布



教育旅行学習事例

●事前学習

水俣病に関する基礎知識を事前に習得することで、現地でより踏み込んだ探究活動を行えます。

※事前学習用の教材等は相談に応じて提供します！

●フィールドワーク（探究活動など）

取り組む課題に応じて関連する施設を視察し、語り部・専門家等の話を聞きます。

そして自分の言葉でその学びを表現し、共有するなどして学びを深めます。

※ひとりひとりの意見を引き出し、グループで学び合いをする学習をお手伝いします。

●自然体験（里山や海の力を感ずる）

プログラムが豊富です。海・山の恵みを美味しく・楽しく体験できます！（P13、14参照）

●まとめ

現地で学んだことを共有化したり、文化祭等の場で発表し、新たな価値観や行動の創出に繋がります。

プログラム（例）



様々な分野で水俣病と向き合ってきた人たちの講話を聴きます。



現場を視察し“どうして水俣病が起きたのか”などを考えます。



何を感じ・学んだのかを自分のことばで表現し、みんなで共有します。



学習後の感想

※感想の一部を抜粋しています。



学んだことをアウトプットしたい

水俣病について、いろいろな問題について考えるときは、他人事ではなく自分事として考えることが大切だと思った。水俣病の患者さんたちがどのような思いをもつて国際会議に参加しているのかを考え、もし自分が水俣病を語り継いでいくならその想いも踏まえてみんなに伝えることができたらいいなと思った。知識を習得するだけではなく、それをどう伝えていくか、どうやって伝えることができるか重要なことだと思う。おっしゃっていたアウトプットするということを積極的にしていきたい。話を聞いて今までよりも深く考えることができたので、学んだことを普段の生活に活かしていきたい。

(中学生)

おいしいみかんが食べられるまで

体験学習の中で印象に残ったことはみかんの木が大きくなるまでの道のりがとても長いことです。「大きくなるまで十年以上かかる」と教えてくださったときは驚きました。僕たちが食べたみかんの木は小さいものでしたが、みかんは無農薬でとてもおいしかったです。ゼリーもおいしかったです。

(中学生)

水俣はよいところ

水俣病資料館では、資料をわかりやすく解説してくださりありがとうございました。水俣の勉強をして、水俣はとてもきれいなところでみんなとても元気でいいところだと思いました。

(中学生)

自分の力で生きる

水俣病だから他人に助けてもらおうという考えではなく積極的に働きたいという考えをもっているのはすごいと思った。自分だったら病気に甘えてしまうと思った。これからは人任せにしてきたことを自分から積極的にやりたい。

(高校生)

ジブンゴトにして行動する大切さ

水俣病は、「病」という捉え方をするのではなく、起業や行政などの責任を原因とする「食卓で起きた事件」という考え方があったのが印象的だった。また、事件でばらばらになってしまった人たちの絆を再びつなぐというもやい直しの活動も事件に対して前向きに行動していることを実感し、感銘を受けた。豊かさとは何か、それを見つめなおす貴重な経験がすることができた。人は、環境や弱者にダメージを与えなければ生活できないのかということは、人類全体の課題だと思う。そのような中で、公害や環境問題について「他人事」ではなく、「自分事」として行動することが、これからは大切であると感じた。

(大学生)

自分の力で生きる

中学3年生のときに菊池恵楓園の方のお話を聴いて被害を受けた人の気持ちを知り、差別をなくしたいと漠然と思った。今回のお話は、自分自身被害は受けていないけれど、いま水俣のために活動している方のお話だったので自分ができること、しなければならぬことを感じることで、中学3年生のときとは違う発見ができた。大学では、「知識」という力、行動力、周囲に流されない判断力などを身につける良い経験をしていきたいと感じた。

(大学生)

自己を見つめなおす水俣からの学び



S D Gという言葉を初めて知りました。そのほかにもお話を聞きながら自分の無知さ

自分もみんなの力になりたい

自分もいろんな病気で頭の手術をしたことがあるけど、自分以上に苦しんでいる人がいるのなら自分もまじめに中学3年生として頑張っていこうとやる気が出た。がんばってくれている人たちのためにも将来自分もみんなの力になろうと思った。これからの日本を日本人みんなが豊かで健康に暮らしていけるようにしたい。

(中学生)



行動に責任 思考は柔軟に

私達と同じような多感な時期に考えられないようなつらい思いをたくさんしただろうと思います。私たちですらこの恵まれた環境に育っていてもわがままばかり言っているなどとても反省しました。そして、私たちの廃棄物が海に流れ、原因である私たちは知らず知らずのうちに他国の方々の土地を汚染してしまっているようです。私一人がという浅い考えが積み重なり、大きな被害をいつの間にか生み出してしまっているのだと思いました。自分の行動に責任を持ち、柔軟な思考で、多角的な見方で生きていきたいです。そして、感謝を忘れないようにしたいです。

(高校生)



授業を見つめなおす機会

はじめとした他の差別問題も時が経ち、人が減って、薄まって、終わらせてしまっているのか？という問いかけが必要だ。好事例を活かすのは聴く方の才覚(感性)である。

(中学校教諭)

被害者と加害者がおなじところにいるということはわかっていましたが、そこを考えることが欠如していました。杉本肇さんのお話も2回も聴かせていただいているのですが、生徒たちが聞いてどんなことを考えたかというところまでつきつめて授業できていません。「苦海浄土」ももう一度読みたいと思いました。

(高校教諭)

現場から声をあげられる学びへ

我々の暮らし(人権、環境 e t c)は、経済からリードされていくのではなく、現場から声をあげ、手をあげ、リードしていくことが大切である。水俣のことも部落差別を



エコパーク周辺フィールドワーク

水俣の教訓から学ぶ

水俣市民と土地が語る水俣

01 フィールドパートナー

各クラスに1名以上のフィールドパートナーをつけることでフィールドワークをより深められます。水俣の過去と現在、地域との関わり、人と自然のつながりを一緒に考えましょう。



- ①水俣湾埋立地
- ②水俣・芦北地域
- ③フィールドパートナー1人につき1名～40名
- ④2～3時間 ⑤年末年始

A 親水護岸



親水護岸は1994年3月に完成しました。かつては有機水銀を含む工場廃液が流され続けた水俣湾ですが、今は青い海と目の前の恋路島や不知火海の島々の美しい光景を見ながらフィールドワークを行います。

B 慰霊セレモニー



水俣病公式確認から50年目の2006年4月30日、水俣病慰霊碑が完成しました。水俣病で犠牲になった方々の魂を慰め、環境破壊による悲劇を二度と繰り返さないことを祈願して、セレモニーを行います。

※毎年5月1日、この地で水俣病犠牲者慰霊式が開かれています。

C 魂石(たましいいし)



親水護岸にはたくさん魂石が並んでいます。これは、水俣病を通して生き方を問う団体、「本願の会」がそれぞれの想いを込めて彫りあげました。

D 百間(ひゃっけん)排水口遺構



百間排水口からは、1932年から政府が公害に認定する1968年まで、アセトアルデヒドの製造工程で副生されたメチル水銀化合物を含む排水が排出され、水俣湾へ流されました。

E 明神自然海岸



自然がほとんど手つかずのまま残り、多くの生き物が生息している海岸があります。カメノテやヒザラガイ、カニやビナなどが磯に隠れています。

F 毛髪の水銀値を調べる

水俣病情報センター来館の3ヶ月前までに毛髪を送付し、魚介類摂取についてのアンケートに答えれば、来館時、毛髪水銀値データを受け取ることができます。

02 水俣市立水俣病資料館

水俣病の歴史と現状について理解を深め、水俣病の教訓を後世に残すためにつくられ2016年4月に館内展示をリニューアルしました。水俣病の概要について、ビデオ上映や年表パネル、写真などで説明し、メッセージを送っています。



- ①水俣病資料館
- ②水俣市明神町
- ③特になし
- ④開館時間／9:00～17:00(入館 16:30)
- ⑤月曜日(祝日の場合は翌日)

03 水俣病資料館語り部講話

水俣病患者や患者家族である「語り部」の方々からお話を聞くことができます。差別で苦しんだこと、あきらめずに闘ってきたこと、優しさに救われたこと。一人一人の貴重で異なった体験には、多くのメッセージが含まれています。



- ①水俣病資料館語り部室、または水俣病情報センター講堂 ②水俣市明神町
- ③10名～100名(水俣病資料館)／101名～250名(水俣病情報センター 講堂)
- ④1時間(講話の時間帯) 10:30～11:30、13:30～14:30、15:00～16:00
- ⑤月曜日(祝日の場合は翌日)
- 来館される前月15日までにお申し込みください。

04 国立水俣病情報センター

水銀と人間との関わりや、科学的・医学的な面での水俣病を学ぶことができます。センターで収集した水俣病に関する資料を

05 水俣病歴史考証館



- ①国立水俣病情報センター
- ②水俣市明神町
- ③特になし
- ④開館時間／9:00～17:00(入館 16:30)
- ⑤月曜日(祝日の場合は翌日)

閲覧できる資料室、水俣病や水銀に関する研究成果や世界の水銀汚染に関する知識を得られる展示室を備えています。



- ①水俣病歴史考証館
- ②水俣市袋 ③1名～40名程度
- ④開館時間／9:00～17:00
- ⑤土日・祝日・年末年始
- 入館料大人500円／高校生400円／小中学生300円(税別・団体割引あり)

30余年間の活動を通して収集・検証した資料・実物を展示し、水俣病を伝えている民間の資料館です。水俣病における差別や偏見は、立場が変われば「差別される側にも、する側にもなり得る」という大きな課題も提起しています。職員による館内の説明も行っています。

●エコパーク水俣全景

水俣湾の水銀ヘドロを処理するため生まれた41.4haの埋立地には、運動公園やバラ園などがつくられ、水俣病や環境情報発信の基地として活用されています。



負の遺産を富の遺産に

水俣に聴くプログラム

～過去から未来を紡ぎだすために～

水俣病は、チッソ水俣工場がメチル水銀を含む工場排水を海へ流し、それによって汚染された魚介類を人々が長い間たくさん食べたことにより引き起こされました。健康被害や環境汚染だけでなく、被害者への差別や住民同士の争いなど、様々な影響をもたらしました。



1968年に排水は止められ、その後、汚染された水俣湾は埋め立てられ、現在は海の水質については環境基準値を達成していますが、今なお水俣病の認定や補償を求める方々がおられます。一方で、人との関係などを修復しようとする「もやい直し」や水俣病の教訓を伝える活動など、水俣病を正面から受け止めようとするま

《学校の先生へ》

水俣とご本人の悲しい歴史にのっとって話しをされます。語り手に集中するようにご指導の上、実施に臨んでください。事前学習を行ったうえでこそ有効なプログラムです。質疑応答の進行については、グループごと運営していただきます。必要なホワイトボードは無償でお貸しいたします。事前学習などでお困りの際は、ご相談ください。左ページに事前学習の案内があります。

01 語り部、住民、行政職員等との出会い

さまざまな立場で水俣病と水俣に関わってきた人々の自宅や仕事場を訪問して、お話を聴きます。水俣病と闘い続けてきた水俣病患者、患者を支えてきた家族、漁師、ダイバー。水俣という地名と偏見差別に泣かされ、水俣出身だと言えなかった市民。他地域から水俣の価値を高く評価して移り住んできた人や市役所職員など。少人数ならではの交流ができます。



- ①講話者の自宅や職場、公的施設 ② 水俣地域
③ 1名～10名の小グループに分かれて実施 ④1.5～2時間 ⑤年末年始

02 研究者、医師、ジャーナリスト等との出会い

水俣病の原因究明や患者救済にたずさわってきた研究者や医師、水俣病を事件として追求してきたジャーナリストなどから身近な距離でお話しを聞くことができます。水俣病に付随した事柄をすでに理解しており、さらに深めたい方にお勧めするプログラムです。



- ①研究施設、公的施設 ② 水俣地域
③ 1名～20名（施設により定員が異なります。お問合せください）
④1.5～2時間 ⑤年末年始

社会福祉法人さかえの杜

「ほっとはうす」

社会福祉法人さかえの杜「ほっとはうす」は、胎児性水俣病患者や障がいを持つ方々が通いながら働く施設です。様々な教訓



をもたらしした水俣病を宝物として伝えており、「ほっとはうす」の方たちの温かい笑顔に生きる力と元気をもらうことができます。

03 胎児性水俣病患者等との出会い 1

お母さんのおなかのなかにいる赤ちゃんが、水俣病になって生まれてきた場合を胎児性水俣病患者といえます。水俣病を真正面に逃げることなく笑顔で活動される姿から、生きる元気や勇気をいただ



《プログラム例》

04 胎児性水俣病患者等との出会い 2

協働作業を楽しむ

水俣病多発地区の1つ袋地区の小学生在作った「海のうた」。



《プログラム例》

患者さんたちが水俣の野の草花を摘み取り、1つ1つ丁寧に押し花にしています。その押し花で患者さんと協働で「しおりづくり」を行います。

- ①社会福祉法人さかえの杜「ほっとはうす」、公的施設ほか ②水俣地域
③ほっとはうす：20名まで その他、場所とプログラムにより定員が変わります ④2時間 ⑤日月・祝日・年末年始

05 出張講演、事前学習など 出前授業および研修（教員向け含む）

水俣でのフィールドワークをより深めるため、事前学習や出前講座を行うことができます。指導教員を対象とした研修もできます。学校の状況をお聞きして、校内教員ミーティングを開催したり、「水俣から学ぶとは何か？」という指導側の研修を学校に出張して行います。



- ①②指定場所 ③特になし ④60分、90分または120分 ⑤特になし ※旅費（実費）と規定謝金が必要

環境で再生する水俣から学ぶ

未来をつくる、
人をはぐくむ。



◎市民・行政・企業の環境取り組み

01 ごみ分別から資源を考える

水俣では、市民が自分の手で22種類の分別を行っています。分別の日、部活動を休みお手伝いしている水俣市立中学校もあります。実際に水俣市民が行っている分別を体験して気づきを得ます。



①水俣市環境クリーンセンター
②水俣市築地
③1名～20名
④1時間
⑤土日・祝日・年末年始

02 環境クリーンセンターを訪ねる

水俣市が実施する資源ごみや燃やすごみの収集選別場所です。段ボールや新聞紙、アルミ缶やスチール缶などが処理される工程を見学します。燃やすごみの焼却炉も見学できます。



①水俣市環境クリーンセンター
②水俣市築地
③1名～20名
④1時間～1時間30分
⑤土日・祝日・年末年始

03 市民のごみ分別から学ぶ

水俣市内には約300カ所のごみステーションがあります。22種類の分別に取り組み市民から、お話を聞くことができます。



①-②水俣市1区～26区
③1名～20名
④30分～1時間
／各地区分別時間にて受入
⑤金・土・年末年始

◎エコタウン見学プログラム

先進的な環境調和型のまちづくり推進を目的としたエコタウンが全国に多数ありますが、水俣は小規模ながら、市民参加型エコタウン事業として、工場案内が実施されています。



■エコタウン見学プログラム
①各工場 ②水俣市浜松町（⑫のみ水俣市月浦）
③1名～（定員は各社異なる）④40分／9:30～15:15
⑤土日・祝日・年末年始

07 ガラスびんのリユース工場

水俣市ではガラスびんを6種類に分けて収集しています。この工場ではお酒のビンなどリユース可能なものを洗って、出荷しています。また、リユースできないものは破砕して、リサイクルします。道路の舗装材としても使われています。



①(株)田中商店水俣営業所
(エコボ水俣)

09 家電のリサイクル工場

各地で不要になった冷蔵庫、テレビ、エアコンなどは、水俣のこの工場に集められます。金属やプラスチックなどに分けられ、それを素材として再生産する工場へ提供されます。



①(株)水俣アスコン

08 アスファルトのリサイクル工場

コンクリートとアスファルトは破砕・選別後、コンクリートは路盤材へ、アスファルトは再生アスファルト合材として生まれ変わります。ここでは破砕の様子と、再生アスファルト合材の製造状況が見学できます。



①アクトビーリサイクリング(株)

10 廃オイルのリサイクル工場

産業廃棄物のうち、特に健康や生活環境に悪影響を及ぼす恐れのある廃油や廃アルカリ、汚泥等の油系廃棄物を処理し、無害化します。工房では、鉱物油系潤滑油を分別収集し、回収した廃油をリサイクルし、燃料油に再生しています。

04 マイマイ運動

マイ箸、マイ水筒、ごみの出ないお弁当などを食べるなど、ごみゼロ推進活動（通称マイマイ運動）に参加すれば市長名で活動証書の授与を受けることができます。※審査や活動確認が必要なため学校や旅行社からの申請はできません。



①打合せの上決定
②水俣地域
④20分

05 水俣エコハウス

熊本県産材を使用し、昔からの知恵と地域木材を使った次世代につなげられるエコハウスを見学できます。



①水俣エコハウス
②水俣市
③1名～10名
④1時間（10：00～16：00）
⑤月曜・年末年始

11 生ごみをリサイクルして野菜を作る工場

家庭や事業所から出る生ごみを回収し、乳酸菌を混ぜて臭いを抑えて発酵させ、乾燥して堆肥にしています。環境総合技術センターではその堆肥を使い、工場敷地内のビニールハウスで野菜や果物を栽培し、市場へ出荷しています。



①喜楽鋳業(株)
水俣エネルギー工房
③30名まで

12 し尿を肥料にする工場

水俣市芦北町津奈木町から収集されたし尿および浄化槽汚泥を微生物処理し、生成した汚泥を脱水乾燥し、肥料としてリサイクルしています。肥料は有機物やミネラル分が豊富で、特産物のサラダ玉ねぎやみかん栽培などに利用されています。



①(株)環境総合
技術センター



①(株)アル・ピー・エス
③20名まで

水俣市は、1992年に全国で初めて「環境モデル都市づくり宣言」を行い、ごみの高度分別（22分別）を行うとともに、水俣市独自のISO環境マネジメントシステムを構築して環境ISOを小・中学校や家庭等で広めるなど、官民協働で様々な環境政策に取り組んでいます。また、リサイクル・リユースを進める企業が立地して「みなまたエコタウン」を形成しており、水俣市外地域の資源循環と同時に温室効果ガス削減の一翼も担っています。これらの活動が評価され、2008年に国の「環境モデル都市」に認定され、2010年には全国で初めて「日本の環境首都」の称号を獲得しました。こうした結果は、高い意識で多くの環境施策に関わってきた官民協働の活動と努力の積み重ねが、水俣市全体の力となり評価されたものです。

「水銀に関する水俣条約」(The Minamata Convention on Mercury)、略称「水俣条約」水銀および水銀を使用した製品の製造と輸出入を規制する国際条約。2013年に日本主導で署名され、2017年に締結および発効されました。2017年COP1に胎児性水俣病患者の坂本忍しのぶさん、2019年COP3に胎児性水俣病患者の松永幸一郎さんがスイス・ジュネーブでスピーチを行いました。

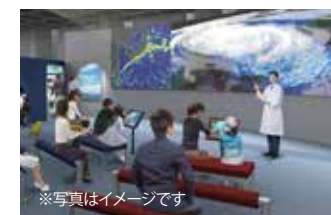


講義を中心とした環境学習
●水環境問題
●ごみ問題
●地球温暖化 など

自然体験を通した環境学習
●海の生き物観察
●ネイチャーゲーム など

ものづくりを交えた環境学習
●リ・ガラスアート
●UVストラップづくり
●裂き織り など

展示リニューアル



※写真はイメージです

①熊本県環境センター
②水俣市明神町
③1名～200名
④開館時間 9:00～17:00（入館16:30）
⑤月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始

地球環境・熊本の水・循環型社会など環境問題についてより深い理解と正しい知識を得ることができます。

06 熊本県環境センター

◎環境センタープログラム

希望に応じて、環境指導員によるレクチャーや環境に関するさまざまな体験学習が可能です。



- 15 水俣の海を感じるシーカヤック** ①水俣湾周辺 ②水俣湾周辺 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始
- 16 何でも炭焼き体験** ①古石交流館みどりの里 ②芦北町古石地区 ③1名～20名 ④2時間 ⑤年末年始
- 17 森の恵みを考える五右衛門風呂** ①古石交流館みどりの里 ②芦北町古石地区 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始
- 18 薩摩街道佐敷宿を散策** ①薩摩街道佐敷宿 ②芦北町佐敷地区 ③3名～20名 ④1～2時間 ⑤年末年始
- 19 「水俣産」への思いとちくわづくり** ①木村蒲鉾店 ②水俣市桜井町 ③1名～15名 ④1.5時間／午後のみ ⑤年末年始
- 20 暮らしを考えるせっけんづくり** ①エコネットみなまた ②水俣市南福寺 ③1名～20名 ④2時間 ⑤年末年始
- 21 漁師から学ぶ魚さばき** ①水俣市南部もやい直しセンター おれんじ館 他 ②水俣市月浦 他 ③1名～20名 ④2時間 ⑤年末年始
- 22 循環するガラスでリグラスアート** ①リグラス工房「びんの風」 ②肥薩おれんじ鉄道水俣駅内 ③1名～5名 ④2時間 ⑤年末年始
- 23 山と海を考える無農薬釜炒り茶づくり** ①天野茶園 ②水俣市石飛 ③1名～20名 ④3時間 ⑤年末年始
- 24 自然素材で紙漉き** ①浮浪雲工房 ②水俣市袋 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始
- 25 自然の色合い草木染め** ①浮浪雲工房 ②水俣市袋 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始 ②農家民宿 縁 ③芦北町古石地区 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始
- 26 水源のある森と棚田を散策** ①久木野ふるさとセンター愛林館 ②水俣市久木野地区 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始

◎ 地域内のお勧め施設

- 01 海を感じるマリン活動** ①熊本県立あしきた青少年の家 ②芦北町鶴木山 ③3名～300名 ④2時間～ ⑤お問い合わせください
- 02 不知火海の恵みを知る塩づくり** ①御立岬温泉センター「塩むすび館」 ②芦北町田浦 ③1名～30名 ④1時間弱／9:00～17:00 ⑤第2、第4水曜日（祝祭日の場合は翌日）
- 03 太陽と海のテーマパーク御立岬** ①御立岬公園 ②芦北町田浦 ③1名～200名 ④8:30～17:00 ⑤第2、第4水曜日（祝祭日の場合は翌日）
- 04 つなぎ美術館** ①つなぎ美術館 ②津奈木町岩城 ③特になし ④10:00～17:00（入館16:30まで） ⑤水曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始
- 05 不知火海を望むモノレール** ①つなぎ美術館 ②津奈木町岩城 ③1名～8名（一回の乗車） ④1時間 ⑤水曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始
- 06 赤松館(せきしょうかん)** ①赤松館 ②芦北町田浦 ③特になし ④開館時間 10:00～16:00 開館日 土・日・月 ⑤入館料 大人500円／中学生以下無料

◎ 水俣・芦北の体験プログラム

食 創 海 動（散策 他）

- 01 不知火海うたせ船体験** ①計石漁港 ②芦北町 ③1名～36名（1隻の定員12名）④3時間 ※乗船時間が短い場合、漁果が低くなる可能性があります。⑤12月～4月・年末年始
- 02 村人の案内で「村丸ごと生活博物館」を散策** ①-②水俣市頭石地区 ①-②水俣市大川地区 ①-②水俣市越小場地区 ③1名～40名 ④2時間 ⑤年末年始
- 03 里山でつくる田舎料理** ①頭石交流センター ②水俣市頭石地区 ①大川公民館 ②水俣市大川地区 ①越小場公民館 ②水俣市越小場地区 ①大野構造改善センター ②芦北町大野地区 ③1名～20名 ④2時間 ⑤年末年始
- 04 里山でつくるおまんじゅう** ①大川公民館 ②水俣市大川地区 ①古石交流館みどりの里 ②芦北町古石地区 ③1名～10名（大川地区） 1名～40名（古石地区）④2時間 ⑤年末年始
- 05 里山でつくる豆腐** ①久木野ふるさとセンター愛林館 ②水俣市久木野地区 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始
- 06 里山で育ったそばの実でそば打ち** ①久木野ふるさとセンター愛林館 ②水俣市久木野地区 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始
- 07 里山でつくるこんにゃく** ①久木野ふるさとセンター愛林館 ②水俣市久木野地区 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始
- 08 里山でつくるバウムクーヘン** ①久木野ふるさとセンター愛林館 ②水俣市久木野地区 ③3名～20名 ④2時間 ⑤年末年始
- 09 収穫したみかんでゼリーづくり** ①湯の児スペイン村福田農場 ②水俣市湯の児台地 ③1名～20名 ④2時間 ⑤10月～1月

- 10 水俣産「はぜ」で和ろうそくづくり** ①はぜのき館 ②水俣市侍 ③40名まで ④1時間30分 ⑤月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始

- 11 里山でつくるピザ** ①古石交流館みどりの里 ②芦北町古石地区 ③1名～20名 ④2時間 ⑤年末年始

- 12 漁船でめぐる水俣湾** ①水俣湾 ②水俣湾 ③1名～20名 ④2時間 ⑤年末年始

- 13 水俣の海を感じる磯散策** ①水俣湾 ②水俣湾 ③1名～10名 ④2時間 ⑤年末年始

- 14 水俣の海を感じるSUP(スタンドアップパドルボード)** ①水俣湾周辺 ②水俣湾周辺 ③2名～10名 ④2時間 ⑤年末年始



◎実施行程例			【凡例】 バス === JR ——— 船舶 ~~~~
日次	A 案 ・ 行 程	宿泊・備考	
1	九州新幹線 各地 ——— 新鳥栖 ——— 熊本 == 10：50 頃 11：10 頃 12：00 頃 ==阿蘇火山博物館（防災学習）や自然体験==阿蘇温泉 17：30	熊本 (阿蘇の司ビラパークホテル 他 宿泊)	
2	阿蘇 =(九州道)== 水俣環境・人権学習（マイマイ運動・水俣病資料館・語り部・慰霊セレモニー）= 8：00 10：00 13：30 == 水俣・芦北（海、山、里山の自然体験 ※P11.12 参照）== 湯の児温泉 ※宿でフィールドワーク 14：00 17：00 17：30 ぶりがえり	湯の児温泉 (海とタヤけ 他 宿泊)	
3	湯の児温泉 == くまがわラフティング =(九州道)= 熊本市内 = 【熊本城・城彩苑】 == 8：00 9：30 13：00 15：00 == 熊本 ———九州新幹線——— 新鳥栖 ———九州新幹線——— 各地 15：30 頃 16：00 頃 16：30 頃	※新幹線ダイヤについては確定 ではありません。ご確認ください。	
日次	B 案 ・ 行 程	宿泊・備考	
1	九州新幹線 各地 ——— 新水俣 == 昼食 マイマイ運動活動証書授与 == 11：30 頃 13：30 頃 = 水俣環境・人権学習（水俣病資料館・語り部・慰霊セレモニー）== 湯の児温泉 ※宿でフィールドワーク 13：30 16：30 17：00 ぶりがえり	湯の児温泉 (海とタヤけ 他 宿泊)	
2	湯の児温泉 == 水俣（水俣に聴くプログラム）== 昼食（福田農場 パエリアづくり） 9：00 10：00 12：30 14：30 = 出水【農業・家業体験】===== 出水泊 15：30 17：00	鹿児島県出水市 (民泊)	
3	鹿児島 == 出水 == 知覧（平和学習と武家屋敷見学）== 鹿児島中央駅 ———九州新幹線——— 新鳥栖 ———九州新幹線——— 各地 8：00 8：30 11：00 16：00 17：00 頃	※新幹線ダイヤについては確定 ではありません。ご確認ください。	

◎環境に配慮したお土産出張販売

水俣・芦北地域の人々がこだわって作った安心で美味しい商品を集めて宿泊先へ出張販売に参ります。



◎こだわりのお土産



◎お土産・記念品

学校名を入れたお土産・記念品を販売しています。



◎教育旅行・研修・下見実施までの流れ

① 環不知火プランニングへ電話での問い合わせ

② メールによる内容のやりとり

- ・団体名、受入担当者連絡先・実施年月日と滞在時間
- ・学年や受入人数・希望するプログラム
- ・その他ご相談 など

③ 行程と料金の確認

※実施可能かどうかの仮予約状態です。受け入れを確認するものではありませんのでご注意ください。

④ 本予約書類の提出 (ホームページからダウンロードできます) ※発注書類を提出いただき、環プラが本予約作業に入ります。

⑤ オプション (出張教員研修や事前学習の実施) ※有料です。お問合せください。

⑥ 教育旅行・研修・下見の実施

指導にあたる先生がたへ！

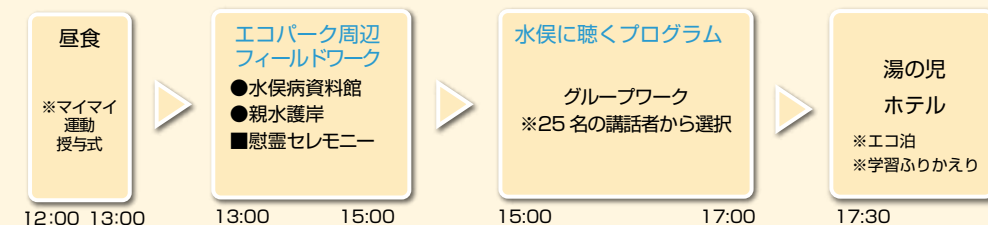
※初めての先生はぜひ水俣での現地研修にお越しください！
※余裕を持って計画的に進めましょう！
※授業の進め方など迷った場合は、気軽にお問い合わせください！

◎モデルコース

Aコース

半日
水俣・芦北地域

■水俣の教訓から学ぶ ※エクスカーショント

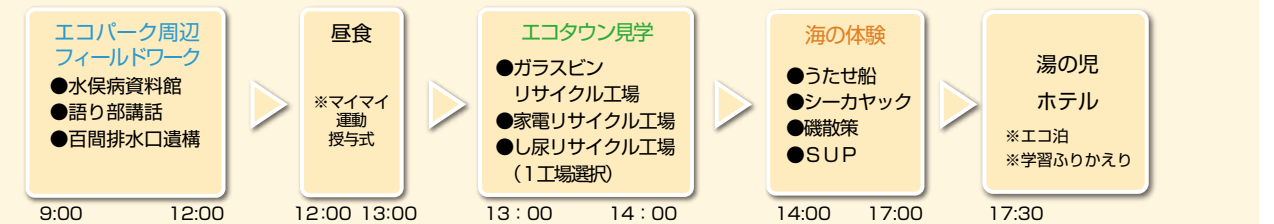


Bコース

1泊2日
水俣・芦北地域

■水俣の教訓から学ぶ ※エクスカーショント

※エクスカーショント

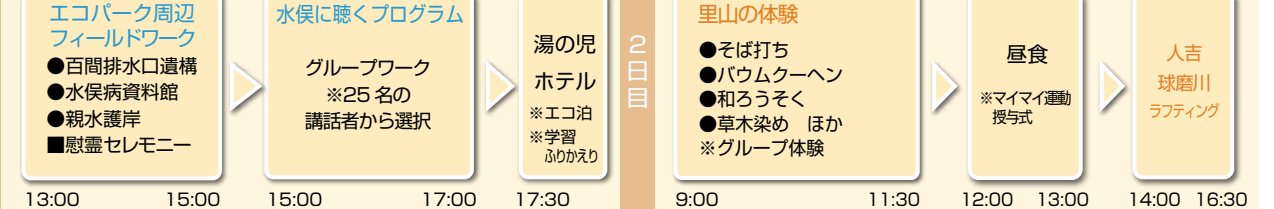


Cコース

1泊2日
水俣・芦北地域

■水俣の教訓から学ぶ ※エクスカーショント

※エクスカーショント



◎環境に配慮した食事

◆湯の児スペイン村 福田農場 《マイマイ運動対象ランチ》

不知火海を望む素晴らしい眺望の中、地産地消、リユース、リサイクルにこだわるレストランでパエリアなどのお食事が楽しめます。

- 住所：水俣市湯の児台地 ●肥薩おれんじ鉄道水俣駅より車で15分/JR九州新幹線新水俣駅より車で15分
- 入場無料/8:00~21:00 年中無休 ●最大受入人数/280名 (パエリア体験は160名)



◆貝汁味処南里 《マイマイ運動対象ランチ》

熊本県産アサリと水俣産味噌や野菜とおいしい水を素材とした貝汁は薄味に仕立ててあります。また、赤鶏を使ったわっぱめしは貝汁と共に看板メニューです。

- 住所：水俣市袋 ●肥薩おれんじ鉄道水俣駅より車で10分/JR九州新幹線新水俣駅より車で20分
- 10:00~22:00 年中無休 ●最大受入人数/60名(わっぱめしのお弁当は280個まで対応可能)

※わっぱめしのお弁当：蒸し器の「わっぱ」は回収し、リユースしています。20個以上の注文は配達可能(一部地域は有料配達)。



◆さるかに合掌亭 《マイマイ運動対象ランチ》

芦北のエビなど地産地消の食事処です。お母さんの味で海外の学生さんからも喜ばれています。

- 住所：芦北町芦北 ●芦北ICより車で3分 ●11:00~23:00 無休 ●最大受入人数/50名
- お弁当は200個まで対応可能



◎水俣・芦北地域体験マップ

水俣の教訓から学ぶ

01 フィールドパートナー

- A 親水護岸
- B 慰霊セレモニー
- C 魂石
- D 百間排水口遺構
- E 明神自然海岸
- F 毛髪の水銀値を調べる

02 水俣市立水俣病資料館

03 水俣病資料館語り部講話

04 国立水俣病情報センター

05 水俣病歴史考証館

水俣に聴くプログラム

01 語り部、住民、行政職員等との出会い

02 研究者、医師、ジャーナリスト等との出会い

03 胎児性水俣病患者等との出会いー1

04 胎児性水俣病患者等との出会いー2

環境で再生する水俣から学ぶ

01 ごみ分別から資源を考える

02 環境クリーンセンターを訪ねる

03 市民のごみ分別から学ぶ

04 マイマイ運動

05 水俣エコハウス

06 熊本県環境センター

07 ガラスびんのリユース工場

08 アスファルトのリサイクル工場

09 家電のリサイクル工場

10 廃オイルのリサイクル工場

11 生ごみをリサイクルして野菜を作る工場

12 し尿を肥料にする工場

海・山・里山に親しむ

01 不知火海うたせ船体験

02 村人の案内で「村丸ごと生活博物館」を散策

03 里山でつくる田舎料理

04 里山でつくるおまんじゅう

05 里山でつくる豆腐

06 里山で育ったそばの実でそば打ち

07 里山でつくるこんにやく

08 里山でつくるバウムクーヘン

09 収穫したみかんでゼリーづくり

10 水俣産はぜで和ろうそくづくり

11 里山でつくるピザ

12 漁船でめぐる水俣湾

13 水俣の海を感じる磯散策

14 水俣の海を感じる SUP

15 水俣の海を感じるシーカヤック

16 何でも炭焼き体験

17 森の恵みを考える五右衛門風呂

18 薩摩街道佐敷宿を散策

19 水俣産「へ」の思いとちくわづくり

20 暮らしを考える せつけんづくり

21 漁師から学ぶ魚さばき

22 循環するガラスでリグラスアート

23 山と海を考える無農薬釜炒り茶づくり

24 自然素材で紙漉き

25 自然の色合い草木染め

26 水源のある森と棚田を散策

地域内のお勧め施設

01 海の素晴らしさを感じるマリン活動

02 不知火海の恵みを知る塩づくり

03 太陽と海のテーマパーク御立岬

04 つなぎ美術館

05 不知火海を望むモノレール

06 赤松館(せきしょうかん)



◎事前学習のための資料

(令和2年3月現在)

■ ホームページ

一般社団法人環不知火プランニング
<http://www.kanpla.jp/>



財団法人水俣病センター相思社
<http://www.soshisha.org/>



水俣市立水俣病資料館
<http://www.minamata195651.jp/>



熊本県
<http://www.pref.kumamoto.jp/>



■ 資料の貸し出し

水俣市立水俣病資料館

●水俣フィールドワークの基礎学習および英語版
右記のページ(<https://www.kanpla.jp/blank-17>)より資料がダウンロードできます

教職員向け

●水俣病と水俣地域の記事
<http://minamata-info.cocolog-nifty.com/>

一般向け

●水俣学修プリントNO.1・NO.2(中学生用)
<https://www.kanpla.jp/download>

中学生向け

●水俣病入門
<http://www.soshisha.org/nyumon/nyumon.htm>

子ども向け

●水俣病患者の概況
<http://www.soshisha.org/kanja/kanja.htm>

一般向け

●水俣病略年表
http://www.soshisha.org/shiryou/nenpyou/ryaku_nenpyou.html

一般向け

●資料 <http://www.minamata195651.jp/list.html>
水俣病とわたしたち(公害や環境を学習することもたちのために)

子ども向け

水俣病Q&A
こどもと学ぶ水俣病(水俣病のポイント学習)
やってみよう!身近な環境づくり

子ども向け

(水俣病を教訓とした水俣市の環境モデル都市づくりから)
はじめて学ぶ水俣病(熊本県作成)

子ども向け

水俣病ーその歴史と教訓ー 2015 日本語版
水俣病ーその歴史と教訓ー 年表

一般向け

新聞の見出しから見る水俣病

一般向け

水俣病10の知識

一般向け

資料館リーフレット

一般向け

水俣病詩集「戻らぬ命」 ～百八つの水俣病患者の思いや手記から～
水俣病認定申請処理状況

一般向け

●来館者ノート

一般向け

<http://www.minamata195651.jp/impressions.html>
●語り部プロフィール
<http://www.minamata195651.jp/kataribe.html>

一般向け

●水俣病関連啓発リーフレット
http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_15315.html
・下記、啓発リーフレットがダウンロードできます

子ども向け

① 水俣病を学ぼう!

子ども向け

② はじめて学ぶ水俣病

一般向け

③ 水俣の経験を未来へ

一般向け

●水俣に学ぶ肥後っ子教室 指導資料

教職員向け

<http://kyoiku.higo.ed.jp/page2017/page3732/page3733.html>

■ 販売書籍

熊本学園大学・水俣学ブックレット

●貸出・閲覧ビデオ・DVD一覧

<http://www.minamata195651.jp/list.html#4>

熊本日日新聞社 ※書店のほか、一般社団法人環不知火プランニング、財団法人水俣病センター相思社でも購入できます。

◎主な受入実績 (2018年～2019年度まで)

■ 中学校 教育旅行

東京都市大学等々力中学校

成城中学校(予定)

武庫川女子大学附属中学校

岡山市香和中学校

宗像市立中央中学校

筑紫野市立二日市中学校

筑紫野市立筑山中学校

大野城市立平野中学校

大野城市立大野中学校

大野城市立大利中学校

佐賀学園成瀬中学校

鹿児島市立東部中学校

熊本市立長嶺中学校(出張講話)

熊本市立出水中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

熊本市立立木中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

山都町立矢部中学校(出張講話)

■ 大学 ゼミ・研修 他

筑波大学水俣研修

法政大学法学部政治学山口ゼミ

明治学院大学林公則ゼミ

神奈川大学法学部東郷ゼミ

神奈川大学・富山大学合同ゼミ

龍谷大学農学部坂梨ゼミ

熊本大学 HIGO プログラム

宮崎国際大学

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

中正大学(台湾)

■ 教職員 ほか

地理教育研究会

神戸市立小学校水俣研修会

筑紫野地区合同フィールドワーク

大牟田市教育委員会フィールドワーク

上益城郡学校人権教育研究会(出張講話)

多良木町立多良木中学校教員研修

水俣病発生地域間交流事業

環境省環境問題史研修

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

一般社団法人海外環境協力センター

小山様ファミリー

世界宗教者平和会議日本委員会

習志野市議会都市環境常任委員会

猪名川町人権同和教育研究大会(出張講演)

津山市議会「市民が第一」

防府市シルバー人材センター

真宗大谷派日豊教区田川組(出張講演)

九州管内ビジターセンター意見交換会

太宰府市「同和」教育研究協議会

熊本市人権啓発市民協議会

水俣芦北地域水俣病被害者等保健福祉ネットワーク事務局

霧島市環境保全協会牧園支部

湧水町衛生普及会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

宜野座村議会

■ 海外

トルコ調査団

日中植林・植樹国際連帯事業

さくらサイエンスプラン水俣研修

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー

水俣病資料館・留学生スタディツアー